

私 が 思 う こ と

坂祝町に住み、各分野でご活躍されているお二人の方に、それぞれの思いを語っていただきました。



「マイセルフ講座での活動を通して」
永田 郁子

公民館講座の講師となり15年になります。15年前に受講していただいた皆さんお元気ですか。私はまだ中央公民館、調理室でパン、ロールケーキ、和菓子教室を行っています。一人でも多くの方に作る楽しさを体験していただければと思っています。

マイセルフの講座募集は、3月と9月に行っています。講座の申込日はたくさんの方が自分磨きの為、受講の申し込みに並んでみえます。未熟な講座にも関わらず、早くから並び申し込んでいただけることに感謝します。当日並んでいただいたのに定員になり、がっかりして帰って行かれる方のことを思うと本当に申し訳ない気持ちです。

最近、名簿を見て驚くことは坂祝町の方が少ない

ことです。12名募集して坂祝の方1名の時もありましたが毎回、新しい出会いがあります。受講生の年齢もバラバラですが30代から70代の方が受講してくださっています。

講座を行って嬉しいことは「主人が先月のパン、これは美味しいと食べてましたよ」と言ってもらえることです。何といたっても、手作りの良さですね。誰かに食べていただき、美味しいと言ってもらえることは最高に嬉しいです。

生涯学習のお手伝いができることに感謝しながら、魅力ある講座を目指し、公民館が活気のある活動場所となっていくように、微力ですが、お手伝いできればと思っています。



「ひ管操作人として」

伊藤 和政

今回、ひ管操作人としての意見をとの依頼をいただき、筆を執らせていただきました。

「ひ管操作人」や「ひ管」という言葉を初めて聞かれる方もおられると思います。防災に携わる方や木曽川堤防沿いに住んでおられる方はご存じかと思いますが、ひ管操作人とは、堤防に複数設置されている内水出水口のゲートの管理と操作を町から受託している者のことです。堤防が完成してから、現在大小のひ管を18名が管理、操作にあたっています。私はその中でも経験年数が一番少ないと思いますが、過去の洪水時に二度ひ管ゲートの操作を行いました。

ひ管操作とは、洪水時に増水した木曽川の水が、内側に流入することを防ぐ作業のことです。



(なお、増水した木曽川の水を防ぐことは同時に、内側からの排水を止めることになり、滞水してしまうので、その対策は今後の課題かと思えます。)

堤防が完成する以前に発災した「9.28災害」では町内でも多数の方が被災されました。私自身、当時は小学行低学年でしたが、大雨により水嵩の増す木曽川や自宅に迫る水の光景を今でも覚えています。ひ管操作にあたっては、目の前に迫る水の恐ろしさを感じている方もおられると思います。

近年、各地で洪水や地震等の自然災害が起こっています。町民の皆様がそれぞれの経験を活かし、備え、準備することで災害を少しでも軽減できると思います。防災に携わるものとして、各自が、起こり得る災害に対して考えていただけたらと思います。